

発 言 通 告 書

発言者氏名	加藤ゆうすけ
発言の会議	平成29年11月29日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長

【件名及び発言の要旨】

1 路上喫煙から市民を守るための対策について

- (1) 本市では、ポイ捨て防止、景観維持の観点から路上喫煙自粛要請が始まった。施策の効果、環境美化の機運の高まりにより、ポイ捨ての数は要請開始当初よりも大幅に減少している。しかし、路上喫煙者の姿はいまだに散見される。「携帯灰皿を持っており、ポイ捨てはしていない」路上喫煙者の存在に対する、市長の認識を伺う。
- (2) 路上喫煙をなくすため、「ポイ捨て防止」だけではない、政策の方向性を示す必要があると考えるが、いかがか。
- (3) 路上喫煙の中でも、とりわけ危険なのが、公共交通機関の駅前における、通学時間帯の喫煙である。通学する児童・生徒の安全確保のためにも、通学時間帯の駅前の路上喫煙に対し力を入れ施策を講ずるべきと考えるが、市長の所見を伺う。
- (4) 駅前での路上喫煙が特に気になる駅から順に先行して、交通事業者と連携し、学生の通学時間帯の駅前路上喫煙防止強化や、煙が漏れ出ない形での喫煙スペースの確保など、実効性の高い施策を試みてはいかがか。

2 犬猫等のペットとの暮らしについて

- (1) 市民の3割が高齢者である本市において、高齢になっても安心して動物飼育ができる仕組みを構築する必要性は高まっている。飼い主が高齢になり、健康状態の悪化を理由とし、やむなく所有権を放棄せざるを得ない状況がふえることが想定される中で、本市はどのような政策的方針をとるのか。市長の所見を伺う。
- (2) 訪問介護、訪問診療がきっかけで、ペット飼育の継続が近い将来困難となることが予想される高齢者世帯が明らかになるケースもある。高齢者の生活と密接に関連する分野が連携し、犬猫等と暮らす高齢者世帯の状況を把握し、飼育困難な状況が予想される際には、安心できる譲渡先を早目に探せるよう動物愛護ボランティア等の情報を飼い主に提供するなど、「ペットと高齢者」をめぐる課題が深刻化する前に対策を講じてはいかか。
- (3) 本市は、震災時におけるペットの避難について、横須賀市地域防災計画において、獣医師会等関係団体や動物愛護ボランティア等と協力し、適切な動物の保護を行うことを定めている。一方で、「ペットの震災時避難所での受け入れについては、運営委員会の判断による」としており、ペットの同行避難が、全市的に認められるわけではない可能性が示されている。犬猫等のペットと暮らす市民への非常時対策を全市的に今後どのように進めていくのか、市長の所見を伺う。